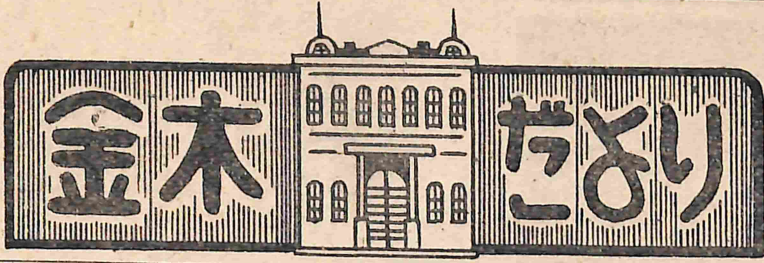


**今月の納税**  
 固定資産税  
 一期  
 国民健康保険税  
 二期

発行所 青森県 金木町役場  
 編集企画室



相互銀行金木支店でも町税の納入ができます。今まで、町税の収納は、役場の出納室、税務課、各支所、青森銀行金木支店だけで行なってきましたが、昭和四十一年六月一日付で、弘前相互銀行金木支店が収納代理金融機関として指定になりましたので、同支店でも町税の納入ができることになりました。ご利用下さい。

### 昭和四十一年度 当初予算決まる

#### 一般会計

昭和四十一年度の金木町一般会計当初予算は二億四千四百八十九万七千円と定まりました。昭和四十年度の当初に比べ四千万五千円もの増となっておりますが、予算内容の主なものについて紹介させていただきます。

## 児童館や住宅を建設 構造改善の調査計画費も

### 才入

才入で一番多いのは地方交付税で、前年度当初予算より九百一十一万一千円多い八千九百一十二万五千円、全体の三六・四%を占め、以下町税が五千四百五十万(二二・三%)、国庫支出金が四千二百八十九万六千(一七・五%)、県支出金五百六十二万三千(二・三%)と続き、町税、交付税、国庫支出金の三つで、予算全体の七六・二%を占めています。

### 才出

十三万四千円、結核検診委託料二十万、下水道調査委託料二十万、ゴミ収容施設費十五万、農林水産費、農業構造改善促進費二十九万、水田基盤整備調査委託料九万八千四百、農村青年建設事業費二十四万八千、農工商費、商工会補助四十七万、装飾灯設置補助四十三万六千、公園及び動物園整備費二百六十五万五千、土木費、ブルドーザー購入費(第一年次分)百五十万、砂利運搬代百五十五万五千、コンクリート側溝整備費金木山道町五万五千、田町十二万、北新町十、合車が横行しようとした日本分割に反対した、青森県日華親善協会からの、蔭介石総統の就任式に招かれた「東南アジア視察」旅行団一行は、出発の前日の五月十八日、中華大使館を訪れ、使館を訪問し、訪問の挨拶をした。

### 蔭介石の就任式に招かれて

金木町議会議長 原田 一 実

席上、同大使はわれわれに対して、敗戦時、蔭介石が支那全土における日本軍の安全掃蕩を賠償をとらないこと、連

### 昭和41年度一般会計当初予算

(才入) (単位千円)

款	本 年 度 予 算	前 年 度 予 算	比 較
1. 町 税	54,500	49,115	5,385
2. 臨時地方特例交付金	2,121	0	2,121
3. 地方交付税金	89,115	80,000	9,115
4. 分担金及負担金	4,421	3,979	442
5. 使用料及手数料	4,007	3,747	260
6. 国庫支出金	42,896	31,748	11,148
7. 県支出金	5,623	3,322	2,301
8. 財産収入	3,550	352	3,198
9. 寄附金	335	195	140
10. 繰越金	1,913	0	1,913
11. 諸収入債	3,916	3,374	542
12. 町債	32,500	29,000	3,500
才入合計	244,897	204,832	40,065

(才出)

款	本 年 度 予 算	前 年 度 予 算	比 較
1. 議会費	10,299	8,931	1,368
2. 総務費	47,218	43,473	3,745
3. 民生費	23,891	16,521	7,370
4. 衛生費	3,832	8,897	△5,065
5. 労働費	72	62	10
6. 農林水産業費	17,308	16,279	1,029
7. 商工業費	8,566	5,481	3,085
8. 土木防費	24,339	22,865	1,474
9. 消 費 費	4,091	3,891	200
10. 教育費	82,135	59,947	22,188
11. 災害復旧費	6,663	6,753	△90
12. 公債費	12,568	8,932	3,636
13. 諸支出金	3,315	2,200	1,115
14. 予備費	600	600	0
才出合計	244,897	204,832	40,065

## 同意のとりまとめに入る

国営附 小田川地区土改事業

小田川地区土地改良事業予算において、五千万円の事業の種類や規模によつて、国が事業主体となること、果が事業主体となること、土地改良区等が事業主体となること、三つに分かれており、国営に属する事業は、六月十五日付で事業施行申請の公告をし、六月十八日の五所川原市川山部落を皮切りに、五所川原、金木、中



【国民党本部で馬副秘書長と】

五所川原／金木間の県道の舗装今年中に完成。地元民の長い間の願であった五所川原／金木間の県道の舗装は今年中に実現することになりました。すでに工事は始められており、十一月頃までには、七千四百六十八メートル(五所川原から金木警察署附近まで)の完全舗装が完成する予定になっています。

### 自動電話のかけ方

市内通話のかけ方  
 ①相手の番号をよく確かめます。  
 ②受話器をはずし、発信音を確かめてからダイヤルします。  
 ③お話しすなら受話器を正しくかけます。  
 ④番号を間違ったらかけなおします。  
 ⑤ガチャ、ガチャと切れます。  
 ⑥五所川原と通話するときのかけ方  
 五所川原と金木相互間は市内通話となり、ダイヤルだけでつながります。ただし先方の電話番号の前に市外局番〇一七三三三をダイヤルしなければなりません。たとえば五所川原の二三四五番へかける場合、〇一七三三三三四五とつづけて十回ダイヤルすれば先方がきます。料金は一分間で七円となります。

### 自動電話のかけ方

自動電話をかけるには三つの音の聞きわけが肝心です。  
 ①発信音 ツーン 受話器をはずして耳にあてると、最初に聞こえる音で、「どうぞお使い下さい」という合図です。  
 ②呼出音 ツーッ ツーッ (一秒鳴って二秒休み) ダイヤルを回し終わったとき、電話がつながって、相手を呼び出している合図です。  
 ③着信音 ブーッ ブーッ (〇・五秒鳴って〇・五秒休み) 相手がかかると話中の合図です。一たん受話器をかけて、三分五分後につか直し下さい。  
 ダイヤルのまわし方  
 ①受話器をはずし、発信音(ツーン)を確かめてからダイヤルします。  
 ②指穴へ人さし指を入れ、右回りに指止までキッチリまわして、指をはなします。  
 ③〇も番号の一つですから必ずまわして下さい。  
 金木局の場合は特に次のことに注意して下さい。

### 自動電話のかけ方説明会

営林署向いに建設を進めている金木電報電話局舎は、七月中に完成します。電話は八月十四日午前零時を期して一斉にダイヤル式に切りかえられます。これに伴い、左記により、自動電話のかけ方の説明会を開きます。一般のご参加をお願いします。  
 日時 七月二十六日から二十九日までの四日間  
 毎日午前九時から  
 場所 金木町青年研修所  
 なお、当日は、新しい番号簿と、パンフレット(自動電話のかけ方)をさし上げることになっています。  
 【五所川原電報電話局】



# 農業構造改善事業 計画地域に指定される 金 木 町

金木町における農業構造改善事業は、六月九日付で農業構造改善計画地域に指定されたことにより、今年度中に計画の作成を終え、明年度から3カ年計画で事業を実施する段取りとなりました。

## 事業実施は42年から 区画整理やライスセンター などを計画

農業構造改善事業は、農業の近代化を目標に、昭和三十六年から始められた国の重要農業施策の一つで、全国のほとんどの市町村が対象となっています。

金木町でも、この事業を実施すべく、金木農協の再建など地元への受け入れ体制の整備に力を入れてきました。そして、各農協や土地改良区などの話し合いも進み、今年度の二月に農林大臣あてに計画地域指定の申請を出していたものです。

金木町の事業実施費は米とりにんで、総事業費は約一億一千四百万円と見込まれています。

まだ細部の計画はできていませんが、計画概要書によると、実施する主な事業は次のとおりです。

- ①ライスセンター一棟、農機具格納庫一棟、トラクター二台、刈取機四台(以上事業主体川倉農協)
- ②スピード・スプレヤー六台(川倉農協一、金木農協二、喜良市農協一、嘉瀬農協二)、農機具格納庫六棟(金木農協二、川倉農協一、嘉瀬農協二、喜良市農協一)、一般農道一、〇二六メートル(嘉瀬農協一、川倉農協二)、りんご貯蔵庫一棟(嘉瀬農協)、りんご選果所一棟(嘉瀬農協)、りんご植栽一〇〇町歩二万本(個人)、貯水槽十二カ所(りんご生産組合)
- ③以上の事業のうち、川倉土地改良区の区画整理については、すでに、受益者全員の内諾書がまとまっており、できれば昭和四十二年秋には着工し、昭和四十三年春には完成したい意向で

その他の事業についても今後、国、県、地元が話し合つて実施年度等、計画を作成することになっていきます。

## 助役に成田氏 収入役には西沢氏が就任

収入役には西沢氏が就任して、六月十一日付で、前助役成田勇蔵氏が収入役に就任し、西沢小市郎氏が就任しました。



【成田氏】

## 新行政協力委員決まる 今月中に組織会を開催

昭和四十一年度の行政協力委員は次のとおり決まりました。今月中に組織会を開催し、会長はじめ、常任委員などを決めることになっています。

- 金木地区  
本町：菊地鉄雄、杉林イイク、山田三太郎、菊地タキ、角田豊吉、角田新
- 喜良市地区  
更生部落：木川武四郎、新岡ナミ、西岩見町：元石繁正、大橋キミ、東岩見町：古川与四郎、鳴海春枝、林野崎：棟方武四郎、棟方キ江、北本町：今盛栄、米谷小野スミエ、上派立：大橋藤太郎、加賀谷トヨ、南本町：今健佐久、今きぬ、上柏木町：加藤弥一郎、古川ハツエ、下柏木町：古川嘉之助、加藤キツエ、下町：伊藤猪之吉、古川テル、川端町：今兵太郎、今キネ、双葉町：黒川辰三郎、高橋哲子
- 嘉瀬地区  
上中柏木：原田秀雄、原田ヨシ、下中柏木：原田勘之丞、原田ミキ、東町：今清作、小山内洋子、上小栗崎：伊藤勝四郎、秋元マツエ、中小栗崎：神島忠雄、小松サキ、下小栗崎：伊藤勉、伊藤レイ子、上派立：沢田国美、花田きみえ、中派立：中村長作、伊藤タケ、下派立：鎌田善七、蛸島コト、上新町：阿部金治、黒滝なか、下新町：浜田繁四郎、須崎スミエ、上昭和町：山中哲男、工藤つる、下昭和町：山中文男、沢田キセ、本町：原田堅蔵、山中カヨ、冷水：土岐永作、津田ツル、東町：阿部定平、鳴海シヨ、畑中：内海徳市、土岐ツル

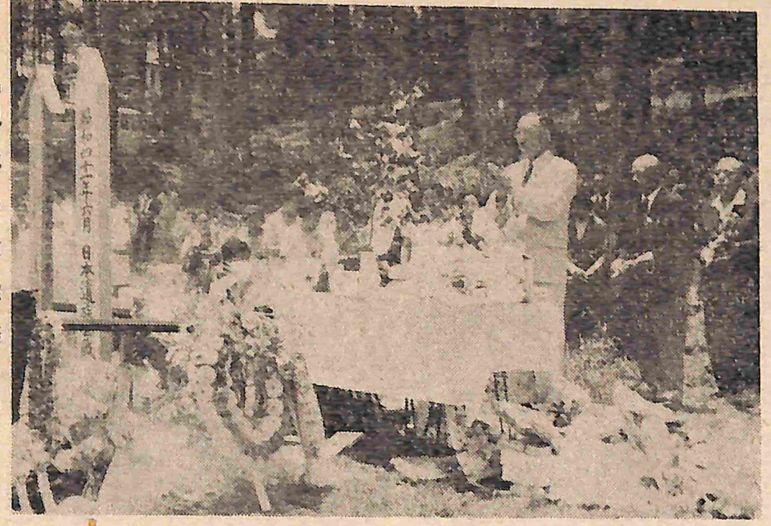
## 花田氏が会長に 東北地区高校PTA連絡協

去る六月二十五日から三日間、秋田市で開かれた東北地区高等学校PTA連絡協議会において、花田一氏が会長に選ばれました。

七月十八日午前九時から正午まで 嘉瀬支所  
七月十八日午後一時から四時まで 喜良市支所  
計量器の検査  
△金木地区  
七月十九日午前九時から午後四時までと二十日午前九時から正午まで 研修所  
△川倉地区  
七月二十日午後一時から四時まで 川倉公民館

青森県からナメ流しを完全追放し、密漁を防止しよう。  
これは関係者の長いあいだの願いです。にもかかわらず、昨年も驚くほどナメ流しが発生しました。生命の根源である水、その水を運ぶ川をきれいにして。これは川の流域にすむ住民の、いや、全県民の悲願です。あえて悲願と掲げなければいけないほど、川の汚染がひどく、昨日も今日も川は汚されています。川の、そして海の資源を保護、育成し適切に利用しよう。これは関係漁民の合言葉となっています。そのために年々増殖に励んでいるのですが、むしろ資源は減る方が多い現状です。以上のべた三つの願いは、つまるところ「川をきれいにし、魚をふやし、ふえた魚を県民みんなが利用しよう。」という、ひとつの願いにほかなりません。「川をきれいにし、すむ魚をふやし、県民みんなが楽しめる川にしよう」ということです。

主催 青森県内水面漁場管理委員会 青森県内水面漁協連絡協議会



【現地の慰霊祭で】

## ルソン島墓参記

金木町遺族会長 吉田長一郎

日本遺族会主催のフィリピンルソン島戦跡巡拝団の一員として、去る六月四日、羽田から特別機でマニラに着き一週間現地で戦死者の慰霊を行なつて帰つてきた。現地での印象を簡単に記してみたい。

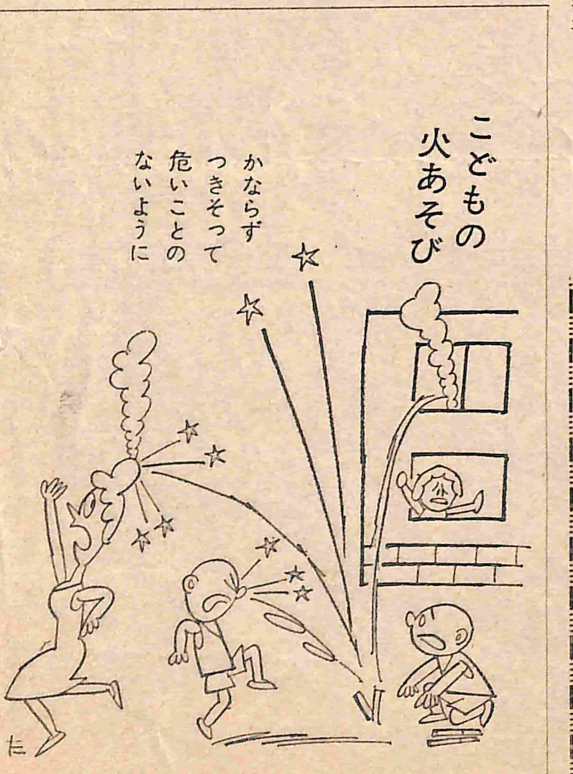
フィリピン諸島での戦死者は四十七万六千人、このうち、本島の戦死者は七千人といわれている。ルソン島はレイテ島につぐ激戦地で、昭和二十年、米軍の砲撃は海と空から雨のようにふりかかり、草木が一本もなく、全滅に近かつたといわれている。

私たちが一行百二十七名は六月四日羽田からマニラに着き無名戦死者の墓地に礼拝したあと、モンテンルパ収容所で合同慰霊祭を行なつた。靖国神社から池田権宮司も出席、おそそかに修拔招魂のりと奏上の声が流れると息子が夫をなくした遺族からすすり泣きの声が生々しい激戦の跡

生々しく、マニラ湾のコレヒドール島の要塞は今でもそのまゝ、網目のように掘られた通路をMPにつきそわれて案内されたが、なかなか暗く、ほろほろと涙が流れて穴にはまだ砲台がそのまゝ、錆ついた高射砲が空に向けられていたのはいたしたかった。

サンミゲル、ピナロン、バギオは戦死者が最も多いところで、ピナロンでは米の収穫期だった。陸稲の穂が道ばたに落ちていたのを告げ、現地の小石を三十分ほど持ちかえつた。金木の遺族の方々に分けてやりたいと思つている。

えられた任務を誠実に遂行するつもりです。町民の皆様には幸甚です。町民の皆様には幸甚です。町民の皆様には幸甚です。



火あそび